

用語解説及び各種統計数値計算方法

五十音	用語	解説
い	移動平均	時系列・系列データを平滑化する統計手法をいう。
	医師育成・確保コンソーシアム	医師の県内定着と育成及び地域医療の確保を目的に、岐阜大学医学部、同附属病院と研修医が多く集まる病院が中心となりコンソーシアムを組織。（H22.9.6 設立） 初期臨床研修医の教育研修、後期研修医等のキャリアアップ及び医師派遣、岐阜大学医学部地域枠の卒業生の受け皿を主な機能とする。
	医療施設調査	国の医療施設（医療法（昭和 23 年法律第 205 号）に定める病院・診療所）の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得ることを目的とした調査。調査頻度は、医療施設静態調査が 3 年に 1 回（10 月 1 日現在）、医療施設動態調査が毎月（10 月 1 日から 1 年間）である。
え	NICU	Neonatal intensive care unit の略。新生児の救急・特殊・集中して治療を行う病棟あるいは部門であり、保育器、人工呼吸器等を備え、24 時間体制で集中的に新生児の治療を行う部門。
	MFICU	Maternal fetal intensive care unit の略。母体胎児集中治療室や母体胎児集中治療管理室を指します。重い妊娠高血圧症候群、前置胎盤、合併症妊娠、切迫早産や胎児異常等ハイリスク出産の危険が高い母体・胎児を治療するための部門。
お	お産の安全神話	戦後まもない日本の周産期死亡率は高く、その後産科医師たちの努力などにより、死亡する赤ちゃんは激減し、現在日本の周産期死亡率は大変低く、世界に誇る高水準といえる。しかし、周産期医療水準の改善は、同時に「無事に生まれて当たり前」という産む人側の「安全神話」をもたらしていった。元来お産は決して安全なものではなく、リスクを早期に発見するため妊婦健康診査を定期的を受診する等、妊娠中の適切な健康管理が重要であることを普及啓発していくことが重要となっている。
き	気管切開（術）	前頸部で気管軟骨を切開し気管を開口すること。
	岐阜県広域災害・救急情報システム	岐阜県が提供する医療情報の検索サイト。救急、夜間・休日に受診できる病院・診療所・歯科診療所などを地域で検索できる。 システムサイトの URL http://www.qq.pref.gifu.lg.jp/qqscripts/qq/qq21.asp
	岐阜県周産期医療協議会	妊娠、出産から新生児に至るまでの一貫した高度専門的な医療や保健を提供し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進することを目的として、平成 19 年 6 月 25 日岐阜県周産期医療協議会設置要綱に基づき設置した協議会。学識経験者、保健・医療・福祉、NPO 法人等関係機関の代表者でメンバーを構成し、岐阜県の周産期医療体制について協議する機関である。
	岐阜県母と子の健康サポート支援事業	障害や疾病を持って生まれた児やその保護者及び体調等が不安定な妊産婦を対象とした母子保健事業。事業は 3 種類あり、家庭訪問等による保健指導や、関係機関による連携強化会議、子ども健康教室事業を実施している。低出生体重児の支援はこの事業の中で実施している。
	岐阜県保健医療計画	高度化、多様化する県民の保健医療ニーズに対して、地域の体系的な医療提供体制の整備を促進し、医療資源の効率的活用、医療関係施設相互の機能の連携の確保により、保健医療共有体制を確保するために策定された計画。 計画の詳細を公開したサイトの URL http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/iryu/keikaku-iryu/med5.html
け	圏域	岐阜県保健医療計画により県民が等しく医療サービスを受けることができる医療提供体制を確立するため、一次、二次、三次医療圏が設定されている。圏域とは二次医療圏を指し、岐阜、西濃、中濃、東濃、飛騨の 5 圏域に分けられている。

こ	合計特殊出生率	(母の年齢別出生数/年齢別女性人口)の15~49歳までの合計
し	死産	妊娠満12週以後の死児の出産のこと。死児とは出産後において心臓拍動、随意筋の運動及び呼吸のいずれも認めないものをいう。自然死産と人工死産がある。
	死産率	1年間の死産数/1年間の出産数(出生数+妊娠満22週以後の死産数)×1000
	GCU	Growing care unitの略。NICUの後方病床であり、急性期を脱した児、又は入院時より中等症であってNICUにおける集中治療までは必要としない場合の児を治療する部門。
	自然死産	妊娠満12週以後の死児の出産のうち、人為的ではなく、自然に妊娠が中絶したものをいう。人工死産以外のもの。
	周産期	妊娠満22以降から新生児の生後7日未満までの期間
	周産期死亡	妊娠満22週以降の死産と、生後7日未満の早期新生児死亡を合わせて周産期死亡という。
	周産期死亡率	【計算式】 1年間の周産期死亡数(妊娠満22週以降の死産+早期新生児死亡)/1年間の出産数(出生数+妊娠満22週以降の死産数)×1000
	周産期母子医療センター	産科及び小児科(新生児科)が一貫した高度な周産期医療を提供する施設。産科診療部門では緊急帝王切開等ハイリスク妊婦の出産に迅速に対応できる体制、小児科(新生児科)ではNICU等を備え、専門的かつ高度な新生児医療の提供体制を備えている。総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センターに分類され、施設基準に照らし合わせて知事が指定又は認定する施設。
	周産期医療情報システム	岐阜県広域災害救急医療情報システムの一部としてインターネット上に開設するシステム。県内の三次周産期医療機関における妊産婦・新生児の受入れ情報を毎日更新しながら掲載するものであり、周産期医療情報システムの閲覧権限は地域周産期医療関係施設及び消防機関に限定される。 システムのインターネットサイト URL http://www.qq.pref.gifu.lg.jp/qqscripts/qq/qq21.asp
	出生率	【計算式】 (1年間の出生数/日本人口)×1000
	人工死産	胎児の母胎内生存が確実であるときに、人工的処置(胎児又は付属物に対する処置及び陣痛促進剤の使用)を加えたことにより死産に至った場合をいい、それ以外は全て自然死産とする。人工的な処置を加えた場合でも、胎児を出生させることを目的とした場合や母体内の胎児が生死不明か死亡している場合は自然死産となる。
	新生児	子宮内から子宮外生活へ移行するために必要な生理的適応が行われる時期にある乳児であり、国際衛生統計では出生後28日未満の児としている。
新生児先天性代謝異常等検査	フェニルケトン尿症、メープルシロップ尿症、ホモシスチン尿症、ガラクトース血症、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成症の6疾患を対象に行う新生児のスクリーニング検査。新生児の足底から採血し、血液をろ紙に含ませたものを検体として用いる。	
人口動態統計	厚生労働省が毎年行う統計であり、一定期間に起こる人口の変化に影響する事柄の指標として、出生数、死亡数、婚姻数、離婚数、死産数等を集計したもの。	
す	健やか親子21	母子保健は生涯を通じた健康の出発点であり、次世代を健やかに育てるための基盤となるものであることから、21世紀の母子保健の主要な取組を提示し、みんなで推進する国民運動計画として「健やか親子21」が定められた。 厚生労働省公式ホームページ http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/sukoyaka/abstract.html
せ	切迫早産	妊娠満22週以降37週未満の時期に規則的な子宮収縮と頸管熟化がみられ、早産の危険

せ		が高い状態。原因の大半が絨毛膜羊膜炎である。
	前置胎盤	胎盤の一部又は大部分が子宮下部に付着し、内子宮口に及ぶものをいう。多産婦ほど多い。
そ	早期新生児	生後7日未満の新生児をいう。
	早期新生児死亡	生後7日未満の新生児死亡をいう。
	早期新生児死亡率	【計算式】 1年間の早期新生児死亡数 / 1年間の出生数 × 1000
	早産	妊娠期間が最終月経の第1日から起算して満22週から満37週未満の分娩をいう。原因となる疾患は多岐にわたり、前期破水、常位胎盤早期剥離、頸管無力症、妊娠高血圧症候群、多胎、前置胎盤等が主なものである。
	総合周産期特定集中治療室管理料	総合周産期特定集中治療室管理料(1母体・胎児集中治療室管理料 2新生児集中治療室管理料)は、出産前後の母体及び胎児並びに新生児の一貫した管理を行うため、都道府県知事が適当であると認めた病院であって、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合していると地方厚生局長等に届出を行った病院である保険医療機関に限って算定できる。
ち	超低出生体重児	出生時の体重が1000g未満の児をいう。
	低出生体重児	出生時体重が2,500g未満の児。1,500g未満の児を特に極低出世体重児、さらに1,000g未満の児を超低出生体重児という。
て	出迎え搬送	受入医療機関の医師が救急車等で依頼元医療機関へ行き、新生児と同乗して自らの医療機関に搬送すること。
	ドクターカー	医師が同乗して傷病者の救命治療を行いながら病院へ搬送するための救急車。一部の救命救急センターや病院に配備されている。車内には人工呼吸器、救急医薬品、心電図モニター等の資器材が搭載されている。主に病院間の搬送に用いられ、消防署の要請に応じて現場に出動する。
と	ドクターヘリ	救急医療用の医療機器を装備したヘリコプターであって、医師及び看護師等が同乗して救急現場等に向かい、現場から医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療を行うことができる専用ヘリコプター。県ドクターヘリは、岐阜大学医学部附属病院を基地病院として運航する。県ドクターヘリは岐阜大学医学部附属病院に常駐し、地域の消防機関の要請で出動する。消防機関の要請からおおむね5分程度で出動することができるため、医師による早期治療を開始することができる。また、短時間のうちに医療機関へ患者を搬送することもできる。
に	乳児死亡	1歳未満の死亡をいう。
	乳児死亡率	【計算式】 1年間の生後1歳未満の死亡数 / 1年間の出生数 × 1000 小児に対する衛生状態に加え、国の医療状態を知る上で重要な指標。
	妊産婦死亡	妊娠中又は分娩後42日以内の妊婦又はじょく婦の死亡をいう。
	妊産婦死亡率	【計算式】 1年間の妊産婦死亡数 / 1年間の出産数(出生数+妊娠満12週以後の死産数) × 100000
	妊婦救急搬送マニュアル	岐阜県と岐阜県周産期医療協議会が策定した岐阜県内における妊婦の救急搬送のルールを取り決めたマニュアル。県内の地域周産期医療関係施設と消防機関が共有し、これに基づき妊婦の救急搬送を行っている。
	妊娠高血圧症候群	妊娠20週から出産後12週までに高血圧が起こる、または高血圧に蛋白尿を伴って起きる妊婦特有の病気。かつては妊娠中毒症と呼ばれていたもので、高血圧・蛋白尿・むくみが三大症状であったが、研究の結果、高血圧を伴わない限りは病気ではないとされた。

		蛋白尿は高血圧と関係が深いので重症化のサインとされている。
に	妊婦健康診査	妊婦並びに胎児を適切に管理するための健診。胎児心拍、腹囲、子宮底長、血圧、浮腫、尿たん白、尿糖、体重等を検査し、妊娠経過の異常の有無を観察し必要な保健指導を行う。厚生労働省通知「妊婦健康診査の実施について」（平成21年2月27日付雇児母発第0227001号）により妊娠期間中の望ましい健診回数は妊娠週数を通して合計14回程度とされる。
ひ	病床利用率	【計算式】 年間延べ利用日数 / 病床数 / 365日 × 100
ふ	複産	同一の出産で2人以上の児が出生する場合のこと。
へ	平均入院日数	【計算式】 年間延べ利用日数 / 年間利用実人員数
む	無過失補償制度	医療事故で障害を負った場合、医師に過失がなくても、患者に補償金が支払われる制度。
も	戻り搬送	状態が改善した妊婦又は新生児を受入医療機関から搬送元又は地域の医療機関に搬送すること。
ゆ	有意差検定	複数のグループの数値の間に有意差があるかどうかを検証するための統計学的な操作有意差検定。

医学書院「医学大辞典第2版」より一部引用